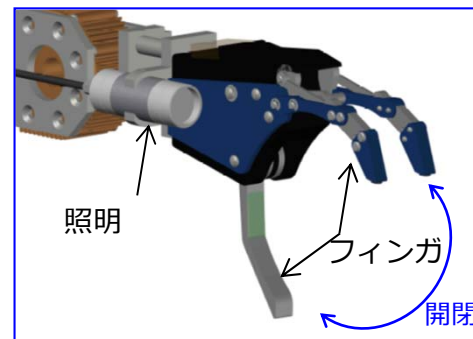
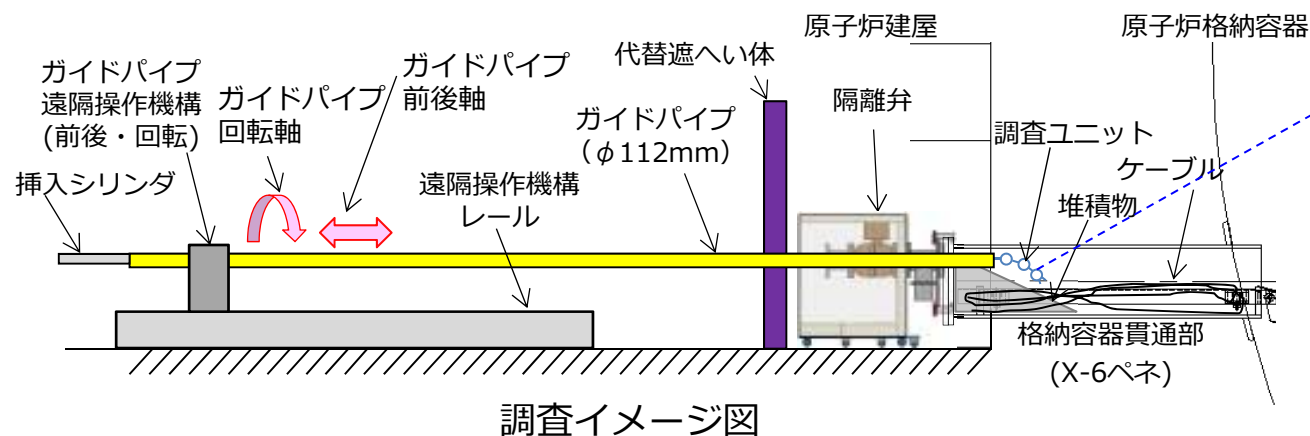


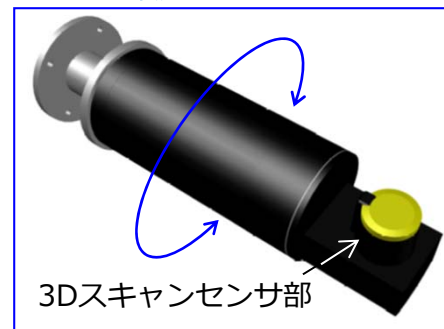
# 福島第一原子力発電所 2号機原子炉格納容器貫通孔内堆積物調査について

< 参 考 資 料 >  
2020年10月26日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2号機燃料デブリの試験的取り出し作業の準備段階として、アクセスルート上の格納容器貫通孔（以下「X-6ペネ」）内に存在する堆積物・干渉物について調査を実施いたします。
- X-6ペネ内にある堆積物・干渉物の状態は、以前の調査（2017年1月）時の映像で推定していますが、今回は、堆積状況等について、より詳細な情報の取得を計画しております。
- 堆積物調査は、X-6ペネ蓋の貫通孔から調査装置（調査ユニット）を挿入して行います。堆積物等の崩れやすさを調査する「接触調査」は10月27日に実施を予定しており、堆積物等の分布を調査する「3Dスキャン調査」は10月29日に実施を予定しております。
- 調査にあたっては、格納容器内の気体が外部に漏れ出ないような安全処置を講じるとともに、作業中はダストモニタでダスト濃度を測定し、周辺環境に影響を与えぬよう、安全最優先に、慎重に進めてまいります。



接触調査ユニット



3Dスキャン調査ユニット